

## がん患者・経験者に対する就労支援策の整理、検討の進め方について

### 1 がん患者・経験者に対する就労支援策の整理

裏面のとおり

※都道府県就労支援施策、がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会報告書等を参考に記載

### 2 検討の進め方

#### ■第1回会議 就労支援策の整理、検討（今回）

就労支援策の整理の中で、各主体が取り組むことが望ましいと考える施策でより効果的なものについて、各委員から各立場における意見を伺う。記載のない施策は追加する。



#### 関係団体への意見聴取及び提言（骨子）に取りまとめ（10月上旬）

記載の施策は、関係団体（委員所属団体は委員から、その他医師会、看護協会、薬剤師会、商工団体等）に意見を聴取し、提言（骨子）とともに、各委員に報告を行う。



#### ■第2回会議 提言の取りまとめ（10月中下旬）

関係団体の意見を踏まえ、各委員から意見を伺い、がん患者・経験者の就労支援策に関する提言を取りまとめる。



#### 提言を受けて

- ・ 県は、提言書を関係機関に送付し、施策の実施に向けた協力依頼を行う。
- ・ 県で実施すべき事業については、予算化を含めた対応を検討する。
- ・ 県は、1年後を目途に、医療機関や企業等に対し、取り組み状況に関するフォローアップを実施し、県ホームページ等で公表する（県がん対策推進計画の進捗管理と一緒に実施）。

## がん患者・経験者に対する就労支援策の整理

●既実施 ○実施可 ・要検討

就労に関するニーズ・課題 (がん患者・経験者とその家族)	就労支援策の内容			
	普及啓発・情報提供	人材の育成・活用	相談・連携体制の整備	その他
<b>○ がん患者・経験者(がん患者等)とその家族</b> がんや治療に伴う身体的、心理的・社会経済的な問題 職場に対して病状等の説明力が十分ではない 相談先がわからない 職場等に病状を伝えにくい	・職場に説明する支援シートの作成(医療機関と企業の情報共有)	●ピアサポートへのがん患者者の活用	●相談支援センターの活用推進 ●ピアサポートの実施	
<b>○ 医療機関</b> ・がん患者等の就労ニーズの把握が十分ではない ・就労継続を意識した説明、声かけが十分ではない ・就労支援に関する知識、技量、情報が十分ではない ・職場との情報共有が十分ではない	・職場に説明する支援シートの作成(医療機関と企業の情報共有) ○医療従事者への教材提供	○医療従事者への研修会	○がん患者の就労ニーズの把握 ・就労継続を意識した治療方針説明の強化 ・専門家(社労士等)と連携した相談対応 ●患者会等との連携 ●がん相談支援センターにおける対応	・休日診療の試行的取り組み ・外見支援専門スタッフの配置
<b>○ 企業</b> ・がんは私傷病であるため、手厚い対応が難しい ・相談体制、情報が十分ではない ・病状の把握が難しい ・主治医と産業保健スタッフ(産業医・保健師等)との連携が十分ではない ・経営的な負担がある	・治療方針等に関する支援シートの作成(医療機関と企業の情報共有)	・がん患者等の人材活用 ○従業員への研修 ○嘱託産業医への研修	・がん患者と主治医、産業保健スタッフが連携した病状、配慮事項の共有 ○地域窓口と連携した相談支援 ・仕事と治療の両立を支援する就業規則の整備と周知	・がん患者との認識の共有
<b>○ その他(労働機関、行政)</b> ・国民のがんに対する知識が十分ではない ・関係者の連携が十分ではない ・活用可能な制度の周知が十分ではない	○理解連携促進のための学習機会の提供 ○啓発チラシやマニュアル等支援ツールの提供 ○就職支援メニュー等の積極的周知と活用促進 ○がん就労支援可能な社労士名簿の作成 ○ホームページでの情報発信	○人事労務担当者向けシンポジウムの開催 ○相談員向け基礎講座、研修会の開催	○産業総合保健センターの活用促進 ・がん相談支援センターへの社労士、労働相談員の派遣 ○がん患者就労支援ネットワーク会議の設置 ・ピアサポート実施団体への支援(補助等)	・働きやすい職場の登録と表彰

出典：「がん患者・経験者の就労支援の在り方に関する検討会報告書」(厚生労働省) 及び都道府県の施策を県で整理、加工したもの。